



ノー(NO)レジ袋・マイバッグキャンペーン

『レジ袋いりません。』の一言からマイバッグ生活をはじめましょう!



町は、循環型社会の3R推進に向け、排出抑制(Reduce)に着目し、住民、事業者との協力を得て、ごみの減量と地球資源の節約に取り組めます。

余計なレジ袋をもらい続けるのではなく、消費行動からごみに対する意識や環境意識を持ち、マイバッグを持って出掛け、環境にやさしいライフスタイルの一步にしましょう。



☆なぜレジ袋なの?なぜマイバッグなの?

①ごみの減量

レジ袋は我々にとって身近で便利な容器包装なので、多量に消費されています。全国では、1年間に300億枚ものレジ袋が使用されています。1人当たり換算すると、年間約300枚のレジ袋を使用していることとなり、そのうちすべてが再利用されているわけではなく、多くが廃棄されています。我々が自らの意思でレジ袋の受け取りを断ることができたら、排出の抑制、ごみの減量につながります。

②地球資源の節約

レジ袋1枚につき、約20ミリリットルの石油を費やしています。もし、1人が年間に100枚のレジ袋を削減することができたら、2リットルの石油資源の節約につながります。瑞穂町全体では、約67,700リットル、ドラム缶(200リットル)に換算すると、約338本分の節約になります。

③ごみ処理費の節約

瑞穂町だけで、一人ひとりが年間100枚のレジ袋を削減することができたら、約17トンの減量になり、761,490円の節約になります。



問合せ 生活環境課 TEL 557-7706

容器包装プラスチックの分別徹底を!

先日、容器包装プラスチックのごみの中に、「ライター(有害ごみ)」が混入されていました。

プラスチックですから、もし引火した場合、収集運搬車両・容器包装プラスチック圧縮梱包施設の火災の原因になり大惨事となる可能性があります。

容器包装プラスチックをリサイクルするために、町は法律に基づき再商品化を義務付けられた指定法人に引き渡して、リサイクルをしています。ライターなどが混入していると、引き取りを拒否されることがあります。

容器包装プラスチックは、「水で洗って、乾かしてから排出してください」とお願いしています。分別に手間がかかる容器包装プラスチックですが、分別の徹底にご協力をお願いします。

詳しくは、ごみ・資源物収集カレンダーをご覧ください。



在宅医療を受けられている方へ

最近、在宅医療を受けられている方から、透析治療で使用した廃棄物について問い合わせが多く寄せられています。

「改訂版 ごみの分別事典」42ページ「透析治療用具(在宅用)」をご覧ください。

医療パック(点滴などで使用したパック)は使用後きれいに洗うことができない場合は燃やせるごみとして排出してください。同様にチューブも細かく切り、燃やせるごみの分別となります。



ただし、使用済みの注射針や注射器等(鋭利な物)は医療機関にて処理をしますので、医療機関または薬局に相談してください。町では処理できませんので混合して排出しないよう注意してください。ご協力をお願いします。

地球温暖化防止のために 家庭でできる取り組み10項目

美しい地球を未来に、子や孫に残そう!

私たちの生活を見直し、二酸化炭素(CO₂)の排出を減らすためにはどうすればいいのでしょうか。まず、ここで挙げた10の取り組みのうち、できるものから始めてみましょう。

次の①から⑩までを実行したと仮定すると、一世帯当たり、年間でCO₂を約736kg削減でき、約40,700円もの節約になります。(全国地球温暖化防止活動推進センターのホームページより抜粋)

① 冷房の温度を1℃高く、暖房の温度を1℃低く設定する

カーテンを利用して太陽光の入射を調整したり、クールビズやウォームビズを取り入れることで、冷暖房機に頼らないで過ごせます。冷暖房を始める時期も遅らせてみましょう。

年間約33kgのCO₂の削減

年間で約1,800円の節約



② 週2日往復8kmの車の運転をやめる

通勤や買い物の際にバスや鉄道、自転車を利用しましょう。歩いたり自転車を使う方が健康にもいいですよ。

年間約184kgのCO₂の削減

年間で約9,200円の節約

③ 1日5分のアイドリングストップを行なう

駐車や長時間停車する時は、車のエンジンを切りましょう。大気汚染物質の排出削減にも寄与します。

年間約39kgのCO₂の削減

年間で約1,900円の節約

④ 待機電力を50%削減する

主電源を切りましょう。長時間使わない時は、コンセントを抜きましょう。また、家電製品の買い替えの際には待機電力の少ない物を選ぶようにしましょう。

年間約60kgのCO₂の削減

年間で約3,400円の節約

⑤ シャワーを1日1分家族全員が減らす

体を洗っている間、お湯を流しっぱなしにしないようにしましょう。

年間約69kgのCO₂の削減

年間で約7,100円の節約

⑥ 風呂の残り湯を洗濯に使いまわす

洗濯や庭の水やりのほか、トイレの水に使っている人もいます。残り湯利用のために市販されているポンプを使うと便利です。

年間約7kgのCO₂の削減

年間で約4,200円の節約

⑦ ジャーの保温を止める

ポットやジャーの保温は利用時間が長いため、多くの電気を消費します。ごはんは電子レンジで温め直す方が電力の消費は少なくなります。

年間約34kgのCO₂の削減

年間で約1,900円の節約

⑧ 家族が同じ部屋でだんらんし、暖房と照明の利用を2割減らす

家族が別々の部屋で過ごす、余計に電気を消費します。

年間約238kgのCO₂の削減

年間で約10,400円の節約



⑨ 買い物袋を持ち歩き、省包装の野菜を選ぶ

トレーやラップは家に帰れば、すぐゴミになってしまいます。買い物袋を持ち歩けばレジ袋を減らせます。

年間約58kgのCO₂の削減

資源節約



⑩ テレビ番組を選び、1日1時間テレビ利用を減らす

見たい番組だけを選んで見る習慣を付けましょう。

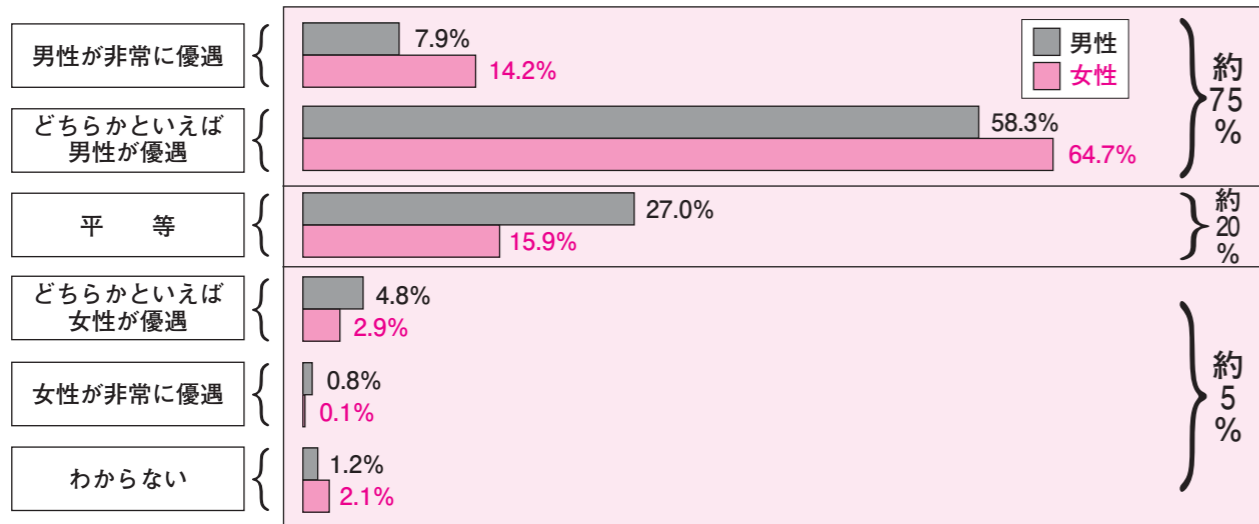
年間約14kgのCO₂の削減

年間で約800円の節約

問合せ 生活環境課 TEL 557-0544

社会全体における男女の地位の平等感

PARTNER パートナー



【備考】内閣府「男女平等参画社会に関する世論調査」(平成19年8月)より

先月号では、男女共同参画社会を形成する5つの「や」を紹介しましたが、それでは、実態はどうなっているのでしょうか。

上のデータが示すように、4人に3人が「男性の方が優遇されている」と考えており、「平等である」と感じている人は2割しかありません。経年的には「男性が優遇」という考え方が、少しずつではありますが減少傾向にあるものの、まだまだ男性優位と感じている方が多いことは否めません。

男女別に見ると、女性の約8割、また、男性自身も約7割が「男性が優遇されている」と考えていますが、男女ともに、「相手の方が優遇されている」という回答傾向にあります。

このように、我が国の実態は、まだまだ男女平等と感じられる社会とは言えないようです。

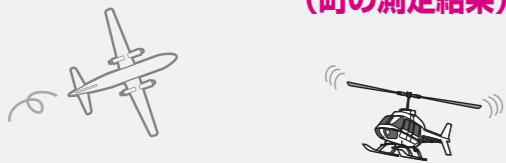
互いを思いやり、受け入れ、理解する。皆さんも、家庭や職場で話し合ってみてはいかがでしょうか。ちょっとしたきっかけで分かり合い、より楽しく過ごすことができるのではないのでしょうか。

瑞穂町は、男女平等を実感できるよう、これからも男女共同参画社会を推進していきます。

問合せ 企画財政課 TEL 557-7469

平成20年4月から6月の航空機騒音測定結果

(町の測定結果)



町ホームページには詳細なデータを掲載しています。

問合せ 秘書広報課 TEL 557-7476

設置場所 箱根ヶ崎民家(箱根ヶ崎駅西地区)

月	回数	日平均	ヘリコプター回数(割合)	最高	欠測等
4月	1,147回	38.2回	34回(3.0%)	107.7dB	無
5月	930回	30.0回	79回(8.5%)	112.9dB	無
6月	590回	19.7回	37回(6.3%)	107.5dB	無

設置場所 役場(箱根ヶ崎2335)

月	回数	日平均	ヘリコプター回数(割合)	最高	欠測等
4月	156回	5.2回	26回(16.7%)	93.3dB	無
5月	144回	4.6回	35回(24.3%)	96.3dB	無
6月	110回	3.7回	32回(29.1%)	94.8dB	無

【測定条件】騒音レベル70dB以上の騒音を測定

あなたの生活安定・正規雇用への意欲と可能性を応援します!

町では8月1日より一定所得以下の方を対象に「生活安定応援事業」を開始します。生活や就職に関する相談を行い、職業訓練や生活資金の貸し付けなど生活安定や正規雇用に向けたきめ細かな支援を行います。ご相談は、瑞穂町社会福祉協議会の窓口でお受けします。

支援の流れ

生活安定応援窓口

瑞穂町社会福祉協議会の窓口でご相談をお受けします。

就職チャレンジ支援相談室

キャリアカウンセリングや職業訓練の紹介、就職支援を行います。

公共職業訓練

職業訓練が受講できます。訓練中は受講奨励金を支給します。(65歳未満)

就職支援

訓練受講後も就職活動を支援します。

生活サポート特別貸付事業

- 生活資金無利子貸付金
職業訓練の受講決定後、受講奨励金支給までの間の生活費を無利子貸付
 - 就職等一時金無利子貸付金
職業訓練終了後、就職した際は必要に応じて就職一時金を無利子貸付
- ※職業訓練や貸し付けは、次の要件をすべて満たす方が対象です。
- 1 世帯の生計を主に担っている方
 - 2 単身世帯は課税所得が年額50万円以下、扶養者がある世帯は生計中心者の課税所得が60万円以下
 - 3 預貯金等資産の保有額が600万円以下
 - 4 土地・建物を所有していないこと
 - 5 都内在住1年以上
 - 6 生活保護を受けていない方
 - 7 さらに事業ごとに個別の要件があります。

問合せ 社会福祉協議会 TEL 557-0159

農業委員会

農業委員会委員の任期満了に伴う選挙(7月6日)は、定数12名に対し立候補者12名であったため全員無投票当選となりました。

○選挙結果

(届出順)

氏名	党派	区分	氏名	党派	区分
須賀省三	無所属	現	吉永重晴	無所属	現
吉岡達治	無所属	新	雨宮正明	無所属	新
石塚喜淑	無所属	現	戸谷典夫	無所属	現
丹生豊春	無所属	新	山崎幸三	無所属	現
岩田松雄	無所属	現	村田真津夫	無所属	新
森田憲司	無所属	現	大谷宗吉	無所属	新

農業委員会委員は、選挙による12名の委員のほか、議会・農業協同組合の推薦により町長が選任した3名の委員(合計15名)で構成されています。

○選任

氏名	推薦区分	区分
久保田晴利	議会	現
近藤保	議会	現
鈴木昭次	農協	現

問合せ
選挙管理委員会(総務課内) TEL 557-0614
農業委員会(産業振興課内) TEL 557-7630